

みんなの要求みんなて実現！ 広げよう共同の輪！

大阪春闘共闘ニュース

No.3 09年12月10日

〒530-0034

大阪市北区錦町2-2

大阪労連気付

TEL (06) 6353-6421

すべての労働者をまきこんだ春闘を

継続・発展する「なんでも相談村」

豊能は第4回なんでも相談会

12月5日(土) 10時からハローワークの向いの池田市コミュニティセンターで実施。

折り込みを見て来たと言う老人が、医療費の公的負担の相談。共産党池田市議員がさっそく次の月曜日に市役所に同行する約束をしました。

池田市役所に来たが休みで警備員さんから聞いてきたという27歳の女性が、「2ヶ月前にDVで泉州から逃げてきた。あちこち転々として日雇い労働で何とかしのいできた。ここ2~3日は公園で野宿、3日間何も食べていない」とのこと。即日、「地域労組とよの」の組合員所有のアパートに入居させ、月曜日に生活保護の申請に行くことになりました。

ハローワークに来て看板があったので相談に来たという青年、飲食店で経営者が交代し、辞めるか、賃下げを飲むかとせまられ退職を選択。退職理由を自己都合とされたが、会社都合にしてほしいとの相談。月曜日に豊能地区協役員と一緒にハローワークに要請に行くことに。

ダイハツの門前ビルを見て相談に来たという中国人青年2名、ダイハツで派遣切りが行われているが心配だという労働者に、労働組合に入って一緒に立ち上がりましょうと呼びかけ頑張ろうと励ましました。さらにダイハツで違法な派遣切りにあったという青年が、今労働組合に入って要求書を提出しようとしている、どう闘うか、たたかいの支援をお願いしたいという相談と7人の相談がありました。

池田市の市議員、北大阪総合、豊中総合、関西合同の弁護士のみなさんと豊能地区協の組合役員が終日相談員を務め、ダイハツ雇用問題を考える会、民商の仲間など多くの仲間の参加で、宣伝もスーパー前などで行い市民にもアピールしました。

(地域労組とよの 斎藤須美雄)

茨木でも

12月5日、6日、茨木市内で「なんでも相談会」を開催しました。相談会に先立って、高槻・茨木・摂津・吹田・島本の4市1町の地域での宣伝、茨木ハローワーク前での宣伝やアンケート・署名活動などを実施しました。参加者は45名。相談件数は14件(事前の相談を含めると17件)で、労災休職あけに、仕事取り上げ、賃金引き下げ。正社員の方から「日給月給に変更に」。22歳の男性から生活困窮と多重債務の相談など、深刻な相談が相次ぎました。

組織拡大も大きな運動の柱です。

通信労組は、「50歳定年制」に反対し、「アンダーフィフティの会」を開催していますが、通信労組の機関紙を見た人が4回の開催で計10人が参加。6人がNTT労組から通信労組への加入を決めました。今週入っても、7人目、8人目と加入が続いています。その方たちは「NTT労組のニュースは共済の話しか載っていない。通信労組の機関紙をよく見ている。」と。